

令和３年度「市議会と高校生との意見交換会」実施報告

熊本市議会では、市民に議会や議員に対する理解・関心を深めてもらうことを目的に、熊本市立千原台高等学校を対象としたアンケート調査並びに意見交換会を実施しました。

1. アンケート調査

対象者：千原台高校２年生 １７６名

調査方法：タブレットによる一斉調査

アンケート結果（別紙１）

2. 意見交換会

日時：令和３年（２０２１年）１０月１１日（月）１６：００～１７：００

場所：熊本市立千原台高等学校

参加者：千原台高等学校 １０名（２年生）

市議会議員 ８名（原口議長、三森委員長、山本副委員長、光永委員、
吉村委員、島津委員、荒川委員、古川委員）

意見交換会の概要：

- ・ 議長、校長開会挨拶
- ・ 議員自己紹介の後、各グループにて生徒の自己紹介
- ・ 事前アンケートの回答発表
- ・ ２グループ（生徒５人、議員２人）に分かれてグループトーク
- ・ 議会広報委員長閉会挨拶
- ・ 写真撮影、アンケート記入

意見交換会の様子（別紙２）

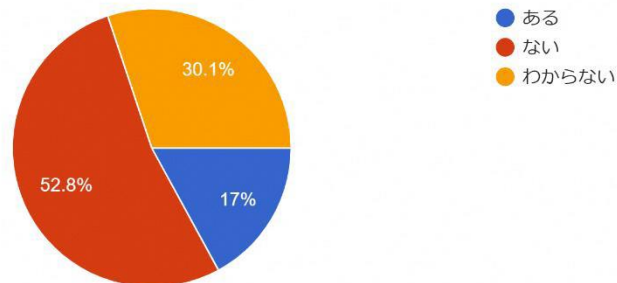
意見交換会終了後の生徒所見（別紙３）

意見交換会終了後の市議会議員所見（別紙４）

熊本市議会に関するアンケート結果

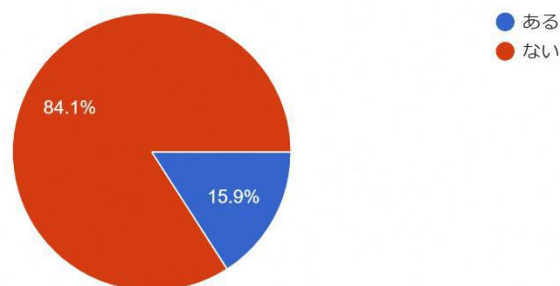
Q 1-1 政治について興味はありますか

176 件の回答



Q 1-2 政治について身近に感じたことはありますか

176 件の回答



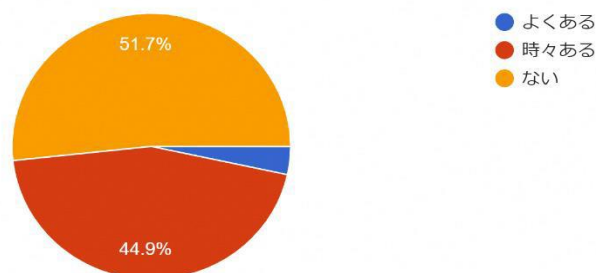
Q 1-3 ※Q 1-2 で「ある」と答えた方のみ回答

どのような時に身近に感じましたか（以下に自由記述）

27 件の回答：ニュースで報道されてのを見たとき(3)・選挙(12)・他の国との関係を知った時・街頭演説(3)・税金(3)・コロナのワクチン関係・給付金が出た時・総理大臣が変わったりしたとき・選挙権が持てる年齢に近づいてきたから・両親がお金の話をしているとき・コロナ禍での休業要請や母子家庭に関する事など・コロナがより流行になり始めたときに様々な制度を決め始めたときなど

Q 1-4 家族や友達と政治について話すことはありますか

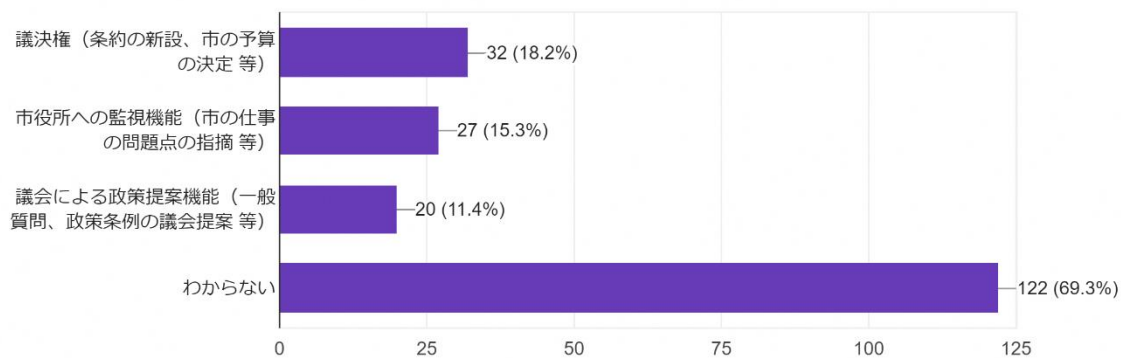
176 件の回答



2 熊本市議会について

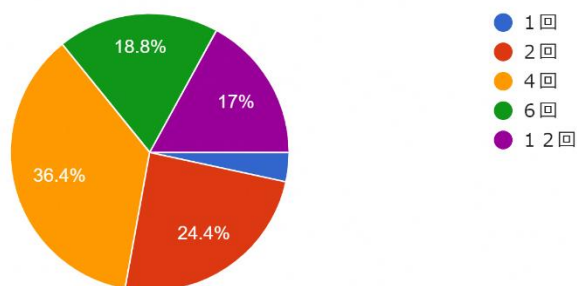
Q 2-1 熊本市議会の役割としてあなたが知っているものを教えてください（複数回答可）

176 件の回答



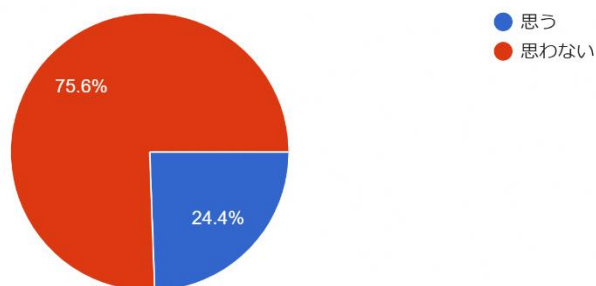
Q 2-2 熊本市議会（定例会）は一年に何回開かれていると思いますか

176 件の回答



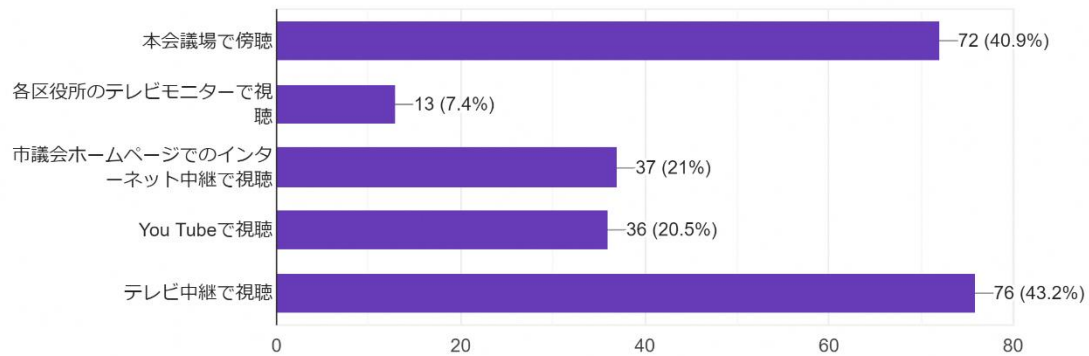
Q 2-3 機会があれば熊本市議会を傍聴（視聴）してみたいと思いますか

176 件の回答



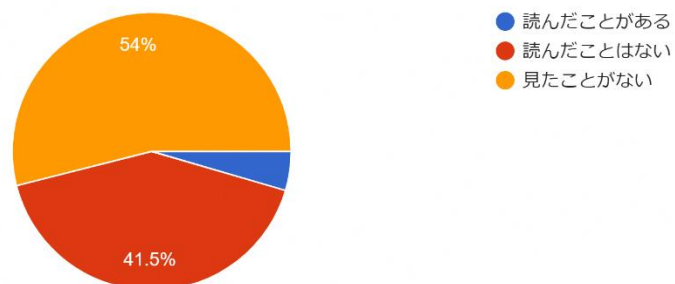
Q2-4 熊本市議会を傍聴（視聴）する手段について知っているものを教えてください。（複数回答可）

176 件の回答



Q2-5 「くまもと市議会だより」を読んだことがありますか

176 件の回答



Q2-6 ※Q2-5で「読んだことがある」と答えた方のみ回答

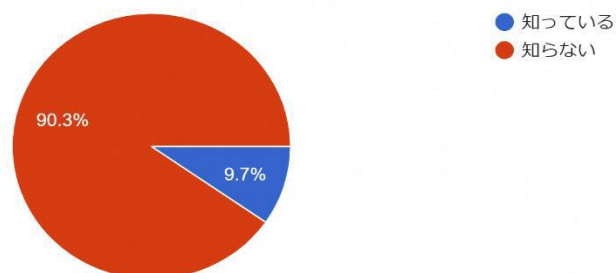
気になる記事はありましたか。それはどんな記事でしたか。（以下に自由記述）

5件の解答：内容は覚えていません(3)・特にない(2)

3 熊本市議会議員と選挙について

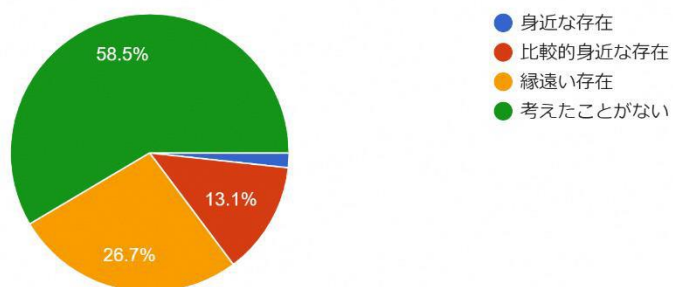
Q3-1 熊本市議会議員がどんな仕事をしているか知っていますか

176 件の回答



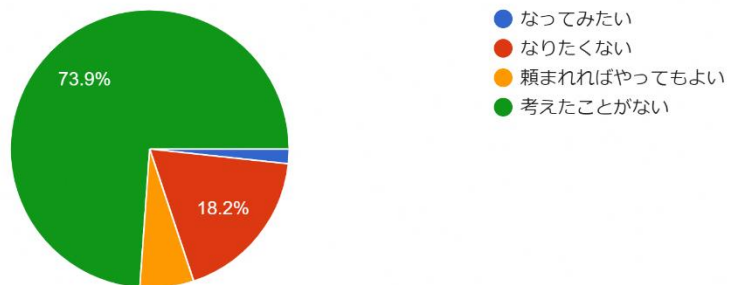
Q 3 - 2 あなたにとって熊本市議会議員はどのような存在ですか

176 件の回答



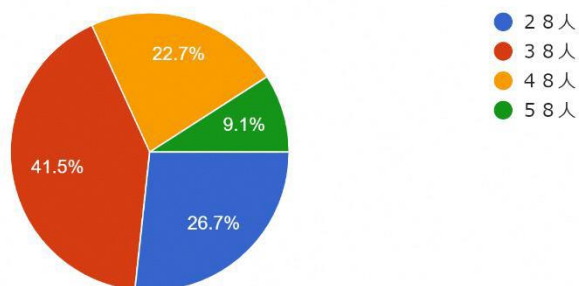
Q 3 - 3 熊本市議会議員という職業についてどう思いますか

176 件の回答



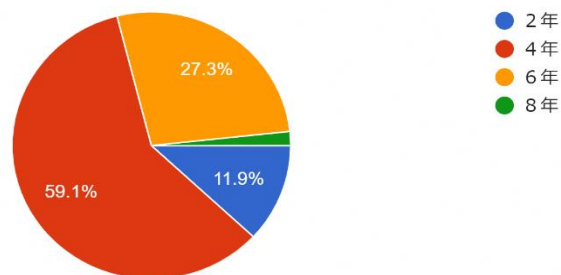
Q 3 - 4 熊本市議会の議員定数は何人だと思いますか

176 件の回答



Q 3 - 5 熊本市議会議員の任期は何年だと思いますか

176 件の回答



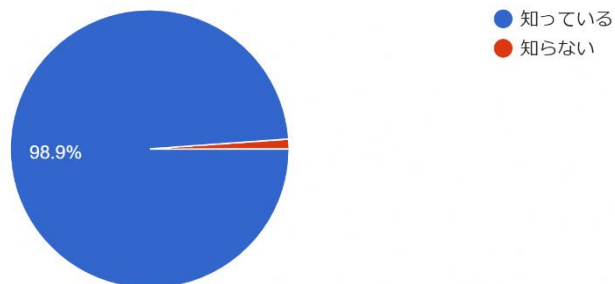
Q 3-6 熊本市議会議員の選挙はどのように行われていると思いますか

176 件の回答



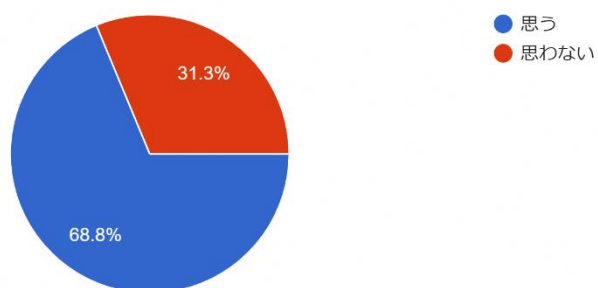
Q 3-7 18歳になると選挙権があることを知っていますか

176 件の回答



Q 3-8 選挙権を得たら選挙に行ってみたいと思いますか

176 件の回答



Q3-9※Q3-8で「思う」と答えた方のみ回答

その理由を教えてください（以下に自由記述）

109 件の回答：（主な回答例）選挙に参加したいから(10)・義務だから(2)・投票してみたいから(14)・権利があるから(7)・自分たちの市のこと、生活の事だから(5)・予定が合うなら行ってもいいと思うから(2)・これから生きていく中で重要なことだと思うから・自分の一票も大切な一票だと思ったから(6)・政治に参加したいから(8)・自分の選んだ人の票を入れに行きたいから(6)・選挙に行かないと政治に文句が言えないから・自分の意見を反映させるため(11)・行くものだと思っているから(5)・熊本を変えたい(2)・変な決まりにしてほしくないから・興味や好奇心から(9)・入れるなら適当じゃなくてしっかり考えて入れたいから・どういう考えの人がいるか知りたいから・なんとなく(2)・自分の意見が得られるかもしれないから・社会勉強のため・若者の声も取り入れてほしいから・親について行ったことがあるから・誰かに決められたくないから・おとなになった感じがするから

Q3-10※Q3-8で「思わない」と答えた方のみ回答

その理由を教えてください（以下に自由記述）

45 件の回答：（主な回答例）選挙についてよく知らないから(13)・あまり考えたことがない(2)・政治について興味、関心がないから(16)・戦争になること以外興味がないから・わからない・あまりいい印象がない・選挙にいったところで高齢者の割合が多く、若者は投票に行かないので結果的に高齢者向けの政策が進むので若者が行っても変わらないと思ったから・難しそうだから・めんどくさい(5)・誰を選べばいいかわからないから・すこしきになるから・時間がないから・どんなものか想像がつかないから

4 その他

Q4-1 今後熊本市に叶えて欲しい（こうなればいいと思う）ことはありますか（以下に自由記述）

97 件の回答：特になし(17)・交通の便をもっと良くしてほしい(9)・ライブ会場をつくってほしい、増やしてほしい(5)・もっと都会にしてほしい(10)・熊本の中心にばかり店が集まっているから、他にも店ができてほしい・道路を広くしてほしい(2)・電車やバスの本数を増やしてほしい(8)・校則が厳しすぎる・事後報告でなく市民の意見を聞く取り入れるをしてほしい・港や空港周辺の活性化・遊び場と移動手段増やしてほしい（水は残して）・遠くから来てももらえるようなところになってほしいです・ない、ただただ戦争をおこすな・最新の開発をたくさんしてほしい・的確な判断・SNSの利用・正しい情報の発信・期待してないので大丈夫です。行き過ぎた行動だけしないでほしいです・遊ぶ場所を増やしてほしい(14)・給付金・授業のオンライン化(2)・過疎化をへらす・きれいで、平和な地域になってほしい(2)・学校でスマホ・暮らしやすい街づくり・もっと民間のためになることをしてほしい・LGBTの方々が生活しやすいように・治安をよくしてほしいです(2)・男女平等・夜になるととても暗い道があるため、もっと明かりをつけてほしい(2)・楽しくしてほしい・コロナ問題解消(3)・上熊本駅の開発・給料を増やせ・北区にもウーバーイーツやってほしい・子育て世代への何らかの援助・アイドルがライブに来ればいい・もっと様々な面で制度を充実させてほしい・自転車専用の道路を作って欲しい・道路をきれいにしてほしい・誰もが暮らしやすい市・もっと街を賑やかにしてほしい・

意見交換会の様子



議員自己紹介



事前アンケートの回答発表



撮影スタッフも広報委員



議長も交えてグループトーク



意見交換会終了後の所見（千原台高校）

- ・今回はお話しできませんでしたが、観光振興や熊本の歴史や文化を学ぶ機会の提供、祭りや伝統文化の継承の対策についていつかお聞きしたいと思いました。
- ・市議会と生徒会は規模で言うと桁違いだけど、仕組みや役割は大まかにいうと変わらないということを感じて、今日一日でより身近に感じることができました。参加することができて良かったです。
- ・要請が来たら自分が一気に進めるのではなく、人を通して共有することが大切だとお話しいただき、実行していきたいと思いました。
- ・今日の会で思ったことは、市議会議員さんはとてもいそがしいんだと思った。市議会議員さんが学校に来てもらい、特別授業をやってもらいたいと思った。楽しみです。
- ・コロナの影響で授業がリモートになった時、自宅での滞在時間が延び、電気代が上がって大変で、少しいいから給付金が欲しいと、母が言っていました。
- ・改めて市議会議員の方々の仕事に分かり、私たち市民の要望に対し一生懸命取り組んで下さっていることを嬉しく感じました。
- ・道が多く負担も大きいと思いますが、北区や南区にも市電などの公共交通機関を作っていただきたいと思いました。
- ・私達が思っていることは議員さんも変えたいと思われていたり、私達が伝えていることにも真剣に取り組んでくださっていて、市議会議員さんに対するイメージが変わりました。
- ・私は今まで市議会議員さんについてあまり知らなかった。市民の意見は反映されないと思っていたけど、今回の話ですごく身近に感じた。たしかに公園がきれいで道も整備されている思い出した。
- ・日本の英語教育は遅れていると思う。他の言葉や他の地域について、もっと深く学びグローバル化する世界に対応できるようになりたい。
- ・他の国よりも、日本は英語教育がおくれている、グローバル社会についていけないように感じるので、他の国の勉強をしたり、ALTの先生の人数を増やしたり、英語教育に力を入れて欲しいと思いました。
- ・市議会議員のみなさまがどのような仕事をしていて、活動をしているのかをくわしく知ることができたので、良かったです。

・市議会議員さんの事を遠い存在と感じていましたが、身近な存在に感じる事ができました。今までよりも政治に関する興味が増したのでよかったと思いました。絶対に選挙に行こうと思いました。

・市議会議員になるまでに意外な生い立ちがあったり、びっくりしたことが多く、また、自分が長年思っていた「義務教育」について話すことができ、すごくスッキリしました。楽しい会でした。

・僕は今まで、市議会が市にとってどのような働きをしているのか、知りませんでした。しかし今回の意見交換会で、議員さんは様々な世代の市民の悩みを直接聞き、議会に提案してくださっているのだとわかり、とてもおどろきました。

・違う仕事を経験した後に市議会議員になったという経歴を知りすごく驚きました。市議会議員の方は、市民の気持ちを考えて、普段仕事をされていることを知って、自分たちの気持ちと議員の方が考えていることが重なる部分があるなと思いました。私も来年から選挙権を持つことになるので、選挙に参加して自分達の気持ちが伝わればいいなと思いました。

意見交換会終了後の所見（市議会議員）

熊本市議会 議長 原口 亮志

まず初めに、今回の意見交換会が無事開催されたことに、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

若い世代との意見交換会という熊本市議会において初めての取り組みを終え、最も強く感じたことは、議会への理解や関心を深めてもらうために大変意義がある取り組みであったということです。

意見交換会に参加された高校生の皆様にとって、直接議員と話すことにより、議員や議会の役割について、興味を持っていただけたのではないかと思います。また、議会や議員に対する若い世代の方々の意見を直接伺うことで、認識の違いを再認識するよい機会となりました。短い時間ではありましたが、とても貴重で有意義な時間となりました。

議会が果たす役割や市議会議員の仕事について、市民の皆様に理解を深めていただくためにも、若い世代の皆様との交流という活動の必要性を改めて強く感じております。

今回の経験を踏まえ、今後もこのような取り組みを継続し、周知していくことで、議会をより身近に感じていただけるようになるのではないかと、心より期待しております。

今回の意見交換会は、市民の皆さんに議員や議会のことを身近に感じてもらいたい、知ってもらいたいとの思いから、広報委員会で話し合いを進めてきました。

千原台高校生との意見交換会を進めるにあたっては、約2年の月日を経て、広報委員会で試行錯誤しながら、行ってまいりました。

ここに至るまで、議会に理解・賛同していただくために、各議員には大変お世話になりました。また、この意見交換会へ献身的にご協力くださった、南校長先生をはじめ諸先生方、生徒の皆さんにも感謝申し上げます。

広報委員会として初めて取り組んだこの意見交換会が無事に済み安堵しています。

高校生の皆さんから身近に感じられたとのご意見もいただき、とても実りある意見交換会だったと思います。これから検証し、次へとつなげていきたいと思っています。

すべての皆様に感謝です。ありがとうございました。

議会広報委員会の新たな取り組みとして、「高校生と熊本市議会議員の意見交換会」が熊本市立千原台高等学校にて開催されました。大変僭越ながら、意見交換会の司会進行を務めさせていただきました。

まず簡単な説明から始まり、事前に高校生にご協力いただいたアンケート結果を踏まえながら、グループにわかれ自由闊達な意見交換が行われました。はじめての試みでしたので、どのようなものになるか少し心配もありましたが、期待以上に盛り上がり、また和やかな雰囲気の中で進めることが出来ました。

今回の意見交換会は、約2年間の準備期間を経てようやく実現しましたので、開催にあたっては、私自身大変思い入れの強い取り組みとなりました。

議会広報委員会は10周年を迎えますが、これからの広報活動の在り方について、新たな方向性を見出す良い契機となったように思います。

今後も市民の皆さまに市議会をもっと身近に感じていただけるよう、邁進し続けます。

私は広報委員を拝命してから、今年で7年目になります。「もっと開かれた議会」に貢献できないかと考える中、着想から2年に亘り準備を進め、今回の企画が実現したことを大変うれしく思っています。

事前の段階では、高校生たちが「取り組みの趣旨を理解し、興味を示してくれるだろうか」「こちらからの一方的な問いかけに終始受け身になってしまわないだろうか」など、種々心配事もありましたが、千原台高校 南校長先生始め学校側の皆さんの前向きな姿勢により期待以上の効果が得られたように思います。

特に、アンケートに対する自由で率直な回答、意見交換会におけるのびのびとした発表と素直な反応が強く印象に残っており、その中には単に議会広報だけでなく、議会活動全般にも大きな示唆を与えるものが含まれていたように思います。これらを一度整理し、共有することの必要性を強く感じております。

次回企画への教訓としては、「マスコミ等報道機関へのアプローチが弱かったこと」「意見交換会直後の成果の分析等検討会の必要性」を感じています。また、高校生に対する簡単な基礎講座(30分程度)を事前に準備してもいいかと思っております。

「市民に寄り添う議会」は、一朝一夕に実現するものではないと思います。こうした創意に満ちた取り組みを継続し、若い人たちにとって議会がもっと身近な存在になるように、これからも知恵を絞り、汗をかいていきたいと思っております。

高校生との意見交換は極めて新鮮で有意義だった。こちらの固定観念を簡単に打ち砕くナチュラルなごく当たり前なご意見を聞くことができ、まさにそういったご意見を市政に反映すべきと改めて思った次第です。今後は、高校生だけではなく、中学生、小学生、大学・専門学校生や働く若者との意見交換会も有意義な会になりそうだと期待します。会の開催にご尽力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

今回のアンケートおよび意見交換会に関しては、議会として非常に意義のある取り組みであったと考えます。

まずアンケートの集計結果では、議会に対する高校生の認知度や興味の低さが見られ、また当広報委員会で発行する議会だよりについても似たような結果でした。

ある程度の予想をしていたとはいえ、なかなか厳しい結果であったと思います。

次に意見交換会の場においては、高校生からの意見や考え方など、活発に発信してくれたと感じました。

さすがに生徒会の役員である生徒たちでしたので、アンケート結果に見られるよりも政治や議会というものに興味を持ってはくれている印象を受けました。

議員の一員として、今後改めて日々の活動を充実させていくとともに、若い世代に対しても積極的にアピールを行い、議会の役割や必要性を訴えていく必要性を実感しました。

今回の議会広報委員会の新たな取り組みである高校生へのアンケート及び意見交換会は、市議会の役割や市議会議員の活動内容が若い世代にどこまで認知・理解されているのか、しっかり把握することが出来たと思います。

アンケート結果はこの程度かなと予想通りでしたが、市政への要望などは結構的を得た内容ばかりでよく考えているなと感心しましたし、今後の活動の参考になるものもありました。

今回は高校生という若い世代をターゲットにアンケート・意見交換会を開催しましたが、引続きこのような取り組みは必要だと考えております。

幅広い世代の市民の皆さんへ市議会の役割や市議会議員の活動内容に対して興味・関心を持っていただき、身近に感じていただけるような取り組みを行っていきたいと思います。

今回の目的は議会や議員の役割を知っていただき、それらをより理解し身近に感じていただくこと。広報紙を一人でも多くの方に手に取っていただくようになり、その先に社会や議会などの政治に関心を寄せてもらえるようになったらということであった。

その目的に対しては、今回の意見交換会は大変意義深い有益な時間であったと思う。参加した生徒たちは生徒会のメンバーであったこともあり、議員と共通する部分が多くみられた。

生徒会では学校の現状を把握し、何が課題なのかどうすればより良い学校を運営し、環境作りができるのか、生徒たちなりに考えていた。

実際、意見交換の中でも生徒たちから直面している校則の変容について私たちの意見を求められる場面があったが、『まずは何のための「校則」であるかということ考え、また、そもそもいつどのように今の校則ができたかや、現状に至った経緯、一つの視点からではなく多角的に検証し、何が必要か、NGなのか判断をしていかななくてはいけない。』という回答をすると同時にまさしく私たち行政や議会において、政策決定する場面では同じ問いを重ねて構築していくことを伝えた。

その他、議会のことに関してや選挙のことに関しては意識が低いのではなく、そもそも地方議会に関しての教育の機会が少ないから「知らない」「関心がない」というアンケート結果に至ったのだと感じている。同じように自分たちの身の回りがいかに政治に囲まれて、つまり政治の作った環境の上に生きているのかということを考える機会が少ないのだと感じた。

今後の意見交換会の継続については同じようなやり方で継続しても良いのではないかと感じている。1時間という時間は、広く浅く生徒たちの意見を聞くのにはちょうどいい時間だと思う。目的は議会や政治を身近に感じてもらえること、また議会に興味関心を持ってもらえること。そこをゴールとして考えるならば1時間でもいいように思う。

最後に、今回この会の実施に尽力いただきました、千原台高校の先生、生徒の皆さん、そして島津議員はじめ、当日の運営をサポートしていただきました議員の皆様へ感謝申し上げます。